opusdei.org

黙想:年間第33主日 (C)

黙想のテーマ:「キリストへの信頼」「私たちの努力を考慮される神」「私たちの信頼の基盤」

キリストへの信頼

私たちの努力を考慮される神

私たちの信頼の基盤

イエスは神殿の装飾の素晴らしさを 眺めた後で、弟子たちに向かい、迫 害と神殿の崩壊についてお話しになります。その話の中に、この出来事に対処するための勧めを幾つか挿入されます「人々はあなたがたに手を下して迫害し、会堂や牢に引き渡(す)。(…)だから、前もって弁明の準備をするまいと、心に決めなさい」(ルカ21・12-14)。

主のこの勧めは一見、変に思えま す。不正な迫害から身を護るための 準備は不要だとは、どういう意味だ ろうか。実際には、たぶんイエス は、特に困難な時、自分にできるこ とではなく、主が私たちの中で働か れることを、最重要視するようお望 みなのです。主は、続けて「どんな 反対者でも、対抗も反論もできない ような言葉と知恵を、わたしがあな たがたに授けるからである | (ルカ 21.15) と、言われます。これは、 私たちの人生に、私たちの限界を超 えて、主が輝き出るようにするため です。さらに、信仰と希望を燃え立 たせ、私たちが一人きりでないこと を、思い出させる言葉です。

これは、聖ホセマリアが実際に経験 したことでもあります。ロンドンを 訪れた折のことです。忙しそうに動 き回る人々や物的な繁栄、金融会社 の活発な動きなどを眺めて、当惑 し、無力さを感じ、「ホセマリア、 此処では何もできない」と考えたの です。するとすぐに「あなたにはで きない。私にはできる。確かにあな たには何もできない。しかし、私な らできる | 、と言う答えがあったの ですが。この信念は、『道』に書き 記したほど、深く心に刻み込まれま した。「あなたは巨大な信仰を感じ ている。その信仰をお与えになる御 方は、手段をもお与えになるだろ う | [2]a

神はいつも傍らにおられることを知 ると、私たちは落ち着いて楽観的な 歩みを続けることができます。しか し、私たちの行動は、どのような決 意のもとに行われようと同じで無関 係である、という意味ではありませ ん。キリストは、人々の心に神の国 を広げるため、私たちがすることや できることを、勘定に入れます。事 実、福音書には、イエスに協力する 人々の具体的な模範があります。大 がめに水を満たすこと、天井に穴を あけること、パンや魚を、また見知 らぬ人に頼まれて、水を差し出すこ となど…。だれにもできる些細なこ とですが、しかし、その行為は、想 像もできない結果をもたらしまし た。上質のブドウ酒、麻痺患者の治 癒、豊富な食糧、あるいは改心な F"

イエスは、私たちの聖性を目指す努力をご覧になって、確かに感動しておられます。「私たちが信じている

神は、人間の境遇を冷淡に眺めるだ けの、遠い存在ではありません。子 どもを熱愛している御父であり、被 造物に愛情を注ぐ、創造主であられ るのです | 図。主は、私たちに不可 能なことではなく、私たちの日常生 活における事柄で、協力するよう頼 まれます。しかし、主の御手におい て、それには、別格の大きさが与え られるのです。主は、予想だにでき ない方法で、私たちの限界を補って 下さいます。「イエスはわたしたち に、わたしたちがもっていないもの を求めません。むしろイエスは、一 人ひとりが自分のもっているわずか なものを与えるなら、そのたびに奇 跡を起こすことができることをわた したちに悟らせます。神には、わた したちの小さな愛のわざを増加さ せ、わたしたちをご自分のたまもの にあずからせることが可能です |

[4]0

迫害と困難を前にして、私たちは 「自分の信仰は乏しく、歩みが逆風 によって阻まれ、妨害される」」 「ほ」と 感じることがあります。こんなし は、私たちの希望が「すでに成し成 げられ、わたしたち一人ひとり」 がいた がに確かに成し遂げられることと のまり、死と悪に対するイエスの勝 利に基づいていることを、思い起こ すことです。

教会の草創期から、信者はさまざまな困難に遭遇してきました。彼野に私たちはる問題をまらゆる問題は、あらばなれたちができまった。主は、ですがに現存であるとして、がに現存であるとして、あないのであるとして、あなければ、のではない。のでは、あないがない。のであるかち取りなさい」(ルカ21・19)。

いつも、神のみ手の中にあるという 信念をもって困難を受け入れること は、人の生活に落ち着きを与えてく れます。「あなたのため少し苦しま せてください、とあなたは主にお願 いした。ところが、そう言った後 で、ごく人間的でごく当たり前の苦 しみ、すなわち家族にかかわる困難 や問題、あるいは日常生活にまつわ る無数の問題がやって来ると、それ らの背後においでになるキリストが なかなか見えない。そのような 〈釘〉を素直な心であなたの手に受 け入れなさい、そうすれば苦しみは 喜びに変わるだろうしゃ。マリアに お願いしましょう。御子がいつも私 たちに同伴しておられることを確信 して、日々の問題に対処できますよ

うに、

- [1] アンドレス・バスケス・デ・プラダ『オプス・デイ創立者』 (Andres Vasquez de Prada, El Fundador del Opus Dei, III, pp. 340-345) 参照。
- [2] 聖ホセマリア『道』577番。
- [3] 聖ホセマリア、講演『真理の約束』、1974年5月9日(San Josemaría, Discurso ceremonia investidura académica, "El compromiso de la verdad", 9-V-1974)。
- [4] ベネディクト十六世、「お告げの祈り」でのことば、2012年7月29日。
- [5] フランシスコ、「お告げの祈り」でのことば、2020年8月9日。
- [6] フランシスコ、一般謁見演説、 2017年2月1日。

[7] 聖ホセマリア、『拓』234番。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/meditation/mokusou-nenkann-33shujitu-c/(2025/12/15)